

## (それぞれの事業所からの報告)

### ● つむぎ (就労継続支援B型事業所)

#### 「働くこととは？」

「なぜ働くのですか？」と聞かれたとき、あなたなら何と答えますか？

おそらく、多くの人が「お金を稼ぐため」と答えるのではないのでしょうか。

知的障がいのある社員を70%以上雇用する(株)日本理化学工業の大山会長は「人間の究極の幸せは、愛されること、褒められること、人の役に立つこと、人に必要とされること。福祉施設で大事に面倒をみてもらうことが幸せではなく、働いて役に立つ会社こそが人間を幸せにする。」と語っています。

仕事をするでお金を稼ぐことも大切ですが、人の役に立つことこそが本当の幸せであり、働くことの意味であると思います。

障がいをもつ人が福祉のお世話になる「与えられる」側ではなく、「与える」側に立って活動を行っていくことを、私は誇りに思っていて、この仕事における原点になっています。

しかし、いまだに障がい者は働く能力がない存在として捉えられている人も多くいます。

障がいがあっても価値がある存在として働くことができる社会にしていくことが求められています。社会を変えていくことも大切ですが、もちろん障がい者自身も変わっていくことも必要です。障がいや病気をもち人が社会で働いていくためには、何が必要でしょうか？

「何をどう準備したらよいかとわからない」「まだ先のことなので、今のところは様子を見よう」という方は、まずは自分に合った相談場所を見つけ、いつでも相談できる関係をつくっておくことをお勧めします。困りごとがある時、問題解決に協力していただけます。福祉の制度やサービスについての情報を詳しく聞くことができるというのも大きなメリットです。

つむぎ目標工賃達成指導員 大山 貴 司



### ● グループホーム(のぞみ・みらい・青い鳥・いこい)

#### 「働く…」

いこいの家では、甲崎圭一さんが国富町のAコープで働かれています。雨の日も風の日も、8時半に出発し自転車を通われています。いつも発声練習を行い、身だしなみに気を使かって行かれます。職場での担当は、売り場のお酒・飲料コーナーで、たいへんな場所を任せられておられます。職員の方よりは、「いなくては困る人材です。」と言われ、それは、「日々まじめに仕事をされる姿を見ているからです。」と言われました。これからも個性をだして頑張ってください。

いこいの家 世話人兼生活支援員 長 田 博 久



### ● エデンの園ふれあい (生活介護事業所)

#### 【清掃活動】

ふれあいでは、毎週金曜日の午後に清掃活動を行っています。窓拭きをされる利用者、掃除機をかける利用者、スリッパの洗浄を行う利用者、車内のマットをきれいにする利用者とそれぞれの役割を持ち黙々と頑張られています。窓拭きでは背伸びし高い位置まで手を伸ばし行うことでリハビリにもなります。金曜日の喫茶はおやつ付きであるため活動の頑張りに繋がり、頑張ったあとの喫茶タイムは笑顔いっぱいです。

生活支援員 兒 玉 妙 子

